

鹿児島市内圃場【水稻】編

■試験の目的

本試験は、鹿児島県において広く栽培されている普通期水稻を対象に、下水汚泥肥料を活用した施肥体系の確立を目的とし、その肥料効果および実用性が生育、収量および品質に与える影響について検証する。

■試験方法

鹿児島市内の圃場において、以下の区分を設定し、施肥試験を実施する。

| 区分 | 肥料構成 | 特徴 |
|-----|-----------------|---------------------------------|
| 区分1 | 下水汚泥肥料+ 化学肥料 | 基肥は下水汚泥肥料及び化学肥料で補給。追肥は必要に応じて行う。 |

■施肥設計

| 試験区分 | 基 | | 肥 (kg/10a) | | | | | 合計 (kg/10a) | | | | |
|--------------------------------------|--------|-----|------------|-----|-----|-------|--------|-------------|------|-----|-------|--------|
| | 肥料名 | 施用量 | 成分量 | | | | | 成分量 | | | | |
| | | | 窒素 | りん酸 | カリ | カルシウム | マグネシウム | 窒素 | りん酸 | カリ | カルシウム | マグネシウム |
| 区分1 | マグマソイル | 200 | 2.0 | 7.4 | 0.4 | 13.0 | 1.8 | 6.8 | 13.0 | 6.8 | 13.0 | 2.2 |
| | 水稻一発くん | 40 | 4.8 | 5.6 | 6.4 | 0.4 | | | | | | |
| ※ 全窒素のうち、アンモニア態窒素1%のみを有効とし、窒素施肥量とする。 | | | | | | | | | | | | |

区分1：基肥に下水汚泥肥料を施用し、慣行栽培と同程度の窒素施用量になるよう化学肥料で調整する。追肥は水稻の生育を観察し、必要に応じて行う。

■試験期間

令和8年6月～令和8年10月（普通期水稻）

【鹿児島市内の圃場での取り組み】

鹿児島市内の一部小学校では、教育活動の一環として水稻栽培が行われています。本試験は、そのうち1校の協力を得て実施するものであり、鹿児島市水道局として初の取組です。

本試験は、10aの圃場において普通期水稻を対象とした施肥試験を実施します。使用する下水汚泥肥料については、鹿児島県が定める施用ガイドライン（10aあたり500kg）を遵守し、安全性に十分配慮して試験を行います。

さらに、本試験を通じて得られた知見をもとに、水稻栽培における下水汚泥肥料の実用的な施肥技術の確立および地域内での利用拡大を目指します。

今後は、生育状況および収量・品質への影響について調査を行い、他作物への応用可能性についても検討していきます。